

MEJ 4067

# 漢字の学年配当

国語シリーズ 24

文 部 省

# 漢字の学年配当

(昭和27・28年度調査報告)

昭和30年3月

文部省調査局国語課

## 刊 行 の 趣 旨

国語シリーズは、国語改善と国語教育の振興に関する施策を普及徹底するために編集するものであります。

このシリーズは、国語問題編・国語教育編・国語生活編・国語教養編および資料編に分け、問題編は主として国語審議会の発表した事がらを、教育編は国語学習指導の方法などを、生活編は国民の言語生活に関する事がらを解説するものであり、教養編は一般の国語教養を高めることを、資料編は国語改善と国語教育に関する基礎資料を集録することを目的とするものであります。

すでに、問題編と教育編はそれぞれ6冊、教養編は5冊、生活編は4冊、資料編は2冊を刊行しましたが、各編にわたって今後も逐次刊行する予定であります。

この本は、資料編の3冊目として、調査局国語課で編集しました。

昭和30年3月

文部省調査局国語課長 白石大二

## ま え が き

政府は、さきに当用漢字表・同音訓表・同別表（教育漢字表）・同字体表等を探択して、学習すべき漢字の種類・読み方・字体等の基準を確定した。しかしながら、漢字教育をさらに有効に進めるためには、少なくとも義務教育の期間に読み書きともにできるように指導すべき漢字としてきめられた 881 字の指導順位の基準の確立を必要とする。このために文部省では、昭和 27 年以降、調査（普及）局内に漢字学習指導研究会を設け、かつ実験学級を依頼して、現在まで調査研究を進めてきた。調査研究は、まだその途上にあり、最後の結論を出すまでには、なお若干の時日を要する。しかしながら、関係方面の参考に資するため、今までに得られた成果をその経過の概略とともに記述して、ここに中間的に報告することとした。調査の実施にあたって御協力を賜わった委員・実験学校職員・指導主事ならびに資料をお寄せくださった各方面のかたがたに、深く感謝するものである。

# 目 次

## まえがき

A	調査の概要	1
第1	調査の目的	1
第2	調査の実施	2
1	学習漢字学年別配当試案作成の意味	2
2	準備調査	4
3	昭和28年度の調査	5
B	学習漢字学年別配当試案の作成	7
第1	漢字の学年配当数	7
第2	国語教科書および各種案の学年配分	10
第3	漢字学年別配当試案作成の基準	12
第4	学習漢字学年別配当試案の作成	14
C	漢字の指導とその効果	22
第1	漢字学習成績の一般的傾向	22
第2	漢字の指導効果	23
第3	注意すべき指導例	30
D	テストの実施とその成績	32
第1	テストの目的と実施の方法	32
第2	実施時間と児童に与えた注意	56
第3	テストの成績	59
1	昭和27年度の事前テストについて	59

2	各テスト間の成績の関係	65
3	終末テストの成績	70
付録1	名簿	75
付録2	漢字学習指導の実験調査(要項)	78
付録3	学習漢字学年別配当試案	80
付録4	実験学級漢字の学習指導について	89
付録5	漢字学習指導記録簿	102
付録6	実験学級漢字指導語形集	113